

● 環境省からのお知らせ ●

「クールビズ×キュウリビズ」がマンガになりました！



環境省は、JA全農福島、JAふくしま未来、伊達市と協力し、マンガ「クールビズ×キュウリビズ～福島のきゅうりがおいしいわけ～」を発行しました。

SNSで人気のマンガ家4人による独自の目線で、福島県のきゅうりの美味しさのヒミツ、生産農家の取り組み、きゅうりレシピやきゅうりで熱中症対策など、楽しく分かりやすく紹介しています。また、マンガだけでは語りきれなかった耳寄りな情報も満載です。

環境省の情報発信拠点で冊子を配布しているほか、環境再生プラザのホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

● マンガについては、SNSでもご覧いただくことができます。



MOTOKO さん
(Instagram)
@motok68



にいまる さん
(Instagram)
@niiii_maru



ジョンソン
ともゆき さん
(Twitter)
@tomo_yuki2525



カメダ さん
(Instagram)
@wanawanawo



● ラジオ特別番組「クールビズ×キュウリビズ～マンガで味わう福島のきゅうり～」

MOTOKOさんとにいまるさんが福島のきゅうり農家を訪れ、「どのようにして名産きゅうりがつくられているのか？」「きゅうりを使った熱中症対策の方法(おいしい食べ方)」など、生産者の皆さんに伺った様子をお伝えしました。

rfcラジオ福島のポッドキャスト番組一覧からご視聴いただけます。



環境省の情報発信拠点

● 中間貯蔵工事情報センター



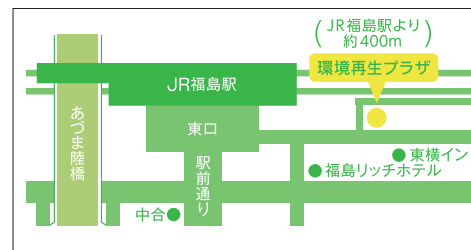
■所在地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑 256
■開館時間 10:00～16:00
■休館日 日曜日・月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-25-8377
中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月バスによる中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



■所在地 福島県双葉郡富岡町
大字上郡山字太田 526-7
■開館時間 9:00～17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-23-7781
特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 環境再生プラザ



■所在地 福島県福島市米町
1-31 1 階
■開館時間 10:00～17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 024-529-5668
福島県環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

福島復興の新たなステージに向けて 2020.9月

ふくしま環境再生 Vol.13



「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。



環境省 福島地方環境事務所

環境省は、除染や特定廃棄物対策などの環境再生の取り組みだけでなく、地域の人々と一緒に未来の姿を見る、そして創る一員であるという認識のもと、環境省の得意分野を活かして、福島未来志向の取り組みを力強く推進していきます。



●「大熊・双葉 環境まちづくりミーティング」の開催

環境省は、大熊町、双葉町の両町にゆかりがある福島県内の若手世代や最前線で活躍されている方、企業の方々と「環境」や「持続可能性」をキーワードに、まちづくりについて意見交換を行う場として、大熊町、双葉町と共催で「大熊・双葉まちづくりミーティング」を開催しました。

- ・第1回「将来の構想づくり ーワールドカフェ形式にて対話ー」 開催日：2020年7月19日（日）
- ・第2回「地域での事業化 ー地域でのビジネスモデルー」 開催日：2020年8月23日（日）
- ・第3回「将来像のビジュアル化 ー地域の未来の姿ー」 開催日：2020年9月12日（土）

第1回のミーティングでは、参加者同士でグループを作り、まちづくりのビジョンを議論するワークショップを行いました。「2050年の大熊町・双葉町の姿」について意見交換を行い、参加者からは269ものアイデアが出されました。

第2回では、3年以内に着手できるかどうかという観点からピックアップしたアイデアについて、議論を深めていきました。

第3回では、これまでの議論をふまえた大熊・双葉のまちの姿について、さらに意見交換し、具体的な将来像としてビジュアル化しました。



「大熊・双葉 環境まちづくりミーティング」開催の様子は、環境再生プラザホームページに「実施レポート」として順次掲載しますので、ぜひご覧ください。



『大熊・双葉環境まちづくりミーティング』について 環境再生プラザ

検索

● IoT技術を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業

環境省は、地域交通の脱炭素化と地域が抱える様々な交通課題の同時解決を目指し、各地域において、IoT技術とグリーンスローモビリティを組み合わせた、新たな持続可能な公共交通モデルの効果などの実証事業を行っています。
※IoT：Internet of Things の略。モノのインターネット。身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み。

■ グリーンスローモビリティとは？

電動で、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のパブリックモビリティ

【5つの特長】

- ①Green・・・CO₂排出量が少ない電気自動車
- ②Slow・・・ゆっくりなので、観光にぴったり
- ③Safety・・・速度制限で安全、高齢者も運転可
- ④Small・・・小型なので狭い道でも問題なし
- ⑤Open・・・窓がない開放感が乗って楽しい



軽自動車タイプ



小型自動車タイプ



普通自動車タイプ

■ グリーンスローモビリティの活用

地域住民の足として

- ・バスが走れなかった地域
- ・高齢化が進む地域
- ・お年寄りの福祉増進
- ・既存のバスからの転換

観光客向けのモビリティとして

- ・ガイドによる観光案内
- ・プチ定期観光バス
- ・パークアンドライド
- ・イベントでの活用

ちょこっと輸送

- ・駐車場から施設まで
- ・施設から施設まで

地域ブランディング

- ・「地域の顔」として

■ 福島県飯舘村でのグリーンスローモビリティ実証事業

2020年8月26日（水）、福島県飯舘村では、「地域の足」として期待されるグリーンスローモビリティの実証事業が開始されました。時速20キロ未満で低速走行する電気自動車を活用し、村民の買い物や病院への足を支援する「中山間地におけるラストワンマイルモビリティ」として、2年後の実用化を目指しています。

（ルート1）

実施期間：2020年8月26日～9月20日 10時～17時40分（毎日運行）
運転区間：いいたてホーム～飯舘村役場～いいたて村の道の駅までい館

（ルート2）

実施期間：2020年10月1日～11月15日 10時～15時20分（火・木曜日に運行）
運行区間：いいたてクリニック～大久保・外内行政区集会所～飯舘町集会所（予定）

（ルート3）

実施期間：2020年10月1日～11月15日 10時50分～16時20分（金・土・日曜日に運行）
運行区間：飯舘村役場～いいたて村の道の駅までい館～宿泊体験館きこり（予定）

